

松本深志高等学校音楽部 志音会演奏会

主催◆松本深志高等学校音楽部志音会

後援◆JCA 日本合唱指揮者協会

松本市、松本市教育委員会、SBC信越放送、
信濃毎日新聞社、市民タイムス、松本平タウン情報

2009年3月15日(日)

於：松本市音楽文化ホール
(ザ・ハートホール)

開演 14:00

ごあいさつ

長野県松本深志高等学校 学校長 高橋 康人

本日の志音会演奏会の開催、誠にありがとうございます。母校深志を巣立たれた後も、志音会として幅広く音楽活動を続けられている多くの会員の方々が、現役生も参加させて頂くご配慮のもと、真心のこもった手作りの演奏会を盛大に開催されますことに対し、心からお祝いを申し上げます。

創立120年の際の「第九」大合唱、そして130年の際の「戴冠ミサ」を中心とする記念演奏会など、節目々々を彩る志音会の芸術性は、深志という学びの場にとって大きな意味を持つ存在であり続けております。音楽という媒体を通して脈々と連なるその系譜は、志音会に集う多くの方々の音楽と深志に対する深く熱い想いに支えられたものと、深甚なる敬意を表するものであります。また会員の皆様方による母校の後輩たちへの平素からの様々なご支援に対しましてこの紙面をお借りして心から御礼申し上げます。

志音会の益々のご発展と本日の演奏会のご盛会をご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

松本深志高等学校音楽部志音会 会長 林 哲郎

本日は、お忙しいところ志音会演奏会にお越しいただき、ありがとうございます。

志音会は、1996年母校120周年記念の「第九」演奏会を契機に2006年の130周年記念「戴冠ミサ」そして昨年の室内楽演奏会に続き、今回の室内楽と合唱の演奏会と、少しずつではありますが着実に活動の輪を広げております。

およそ1000人に及ぶ会員は現役の高校生から80歳代まで幅広く、音楽を職業とする者から趣味として楽しんでいる者、または卒業以来楽譜とは無縁の者まで様々であります。その中で、それぞれの音楽に対する思いをひとつにし、仕事や家庭の事情、居住地、練習時間等、様々な制約を乗り越え、その集大成として本日、客演指揮の長野力哉先生をお迎えして演奏会を開催することができますこと、大いなる喜びです。

広い世代に亘る会員ですが、各々の青春の一時期に深志高校音楽部で活動し、その熱い胸のうちを共有したという思いは皆同じであります。その延長上に今日のステージがあり、さらに大きく活動の輪が広がっていくことを願ってやみません。

時間と空間を超えて音楽に集う私達の演奏をご一緒にお楽しみください。

音楽部 部長 上杉 優貴

この度、志音会の演奏会に参加させていただくことができ光栄です。今日は現役生のみ演奏もあり緊張していますが、精一杯演奏させていただきます。

今世界には、その日の暮らしにも困っている人たちがたくさんいます。そんな中、私達はこんなにも恵まれた環境で毎日大好きな音楽を奏でられるなんてとても幸せなことです。音楽を通して貴重な経験、沢山の出会いがあることに感謝したいと思います。

これからも先輩方が築き上げてくださった音楽部の"歴史"と"伝統"を守っていけるよう日々努力していきます。

プログラム

I. 現役合唱班

混声合唱組曲「水のいのち」より 雨 作詩 高野喜久雄 作曲 高田三郎
混声合唱のための「どちりなきりしたん」より IV 作曲 千原英喜
指揮 石川裕之 ピアノ 小川将也(在2)

II. 現役室内楽班

「調和の靈感」より 協奏曲第10番口短調 作曲 A. L. Vivaldi
指揮 小川将也(在2)

III. 志音会合唱団

飯沼信義編曲による唱歌

おぼろ月夜(混声) 作詩 高野辰之 作曲 岡野貞一
浜辺の歌(女声) 作詩 林 古溪 作曲 成田為三
箱根八里(男声) 作詩 鳥居 忱 作曲 滝廉太郎
夕やけこやけ(混声) 作詩 中村雨紅 作曲 草川 信
雪(混声) 文部省唱歌
ふるさと(混声) 作詩 高野辰之 作曲 岡野貞一
指揮 石川裕之 ピアノ 中島加恵
吉野恵美子 有賀詩織

休憩

intermission

IV. 志音会オーケストラ

ディヴェルティメント第2番(KV137) 作曲 W. A. Mozart
弦楽セレナーデ 作曲 P. I. Tchaikovsky
客演指揮 長野力哉

V. 混声合唱とオーケストラ

カンタータ 147番より 「主よ人の望みの喜びよ」 作曲 J. S. Bach
アヴェ・ヴェルム・コルプス(KV617) 作曲 W. A. Mozart
美しく青きドナウ 訳詩 堀内敬三 作曲 J. Strauss II
編曲 J. Yuzuriha、中島加恵
合唱編曲 津川圭一
客演指揮 長野力哉

プロフィール



客演指揮 **長野力哉**
(ながの りきや)

1960年東京生まれ
桐朋学園大学音楽学部卒業
指揮を小澤征爾、山田一雄、尾高忠明、小泉和裕の各氏に、ピアノを小森谷景氏に、対位法を尾高惇忠氏にそれぞれ師事。1987年より西ベルリンに留学。ベルリン芸術大学においてカール・ビュンデ教授に師事する一方、小澤征爾氏の推薦を受けベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のもとで1987年から1990年の間行われた全てのリハーサル・レコーディングに立ち会い、研鑽を積んだ。これまでに東京都交響楽団、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、上野の森交響楽団、横浜フィルハーモニー管弦楽団、京都フィロムジカ管弦楽団、長野県フィルハーモニー管弦楽団、福岡教育大学管弦楽団、千葉大学管弦楽団、専修大学管弦楽団、三友合唱団などを指揮。全国各地に於いて幅広い指揮活動を行っている。

指揮 **吉野恵美子** (よしの えみこ 18回卒)

松本深志高等学校・東京学芸大学教育学部音楽科声楽専攻卒業。声楽を瀬山詠子氏に、指揮を伊藤栄一氏に師事。二期会合唱団にソプラノパートリーダーとして13年間在団中、オペラ、ミュージカルなどの各種コンサートやテレビ、レコーディングなどで演奏。世界三大テノール（ドミンゴ、カレラス、パヴァロッティ）らともステージを共にしている。退団後、群馬県太田市、栃木県足利市、東京都、安曇野市、松本市でアマチュアコーラスの指導に当たる傍ら、サロンコンサートなどのソロ活動を行っている。1998年、長野冬季オリンピック文化プログラムのオペラ「信濃の国・善光寺物語」の合唱指導で好評を博す。2000年よりサイトウ・キネン・フェスティバル「1000人の合唱」・「200人の合唱」に指導スタッフとして毎年参加、今年度の公式プログラムであるブリテン作曲「戦争レクイエム」の合唱指導にもあたっている。松本市において2005年「カルメン（ハイライト）」、2006年「ニューイヤーコンサート」、2007年まつもと市民オペラ「こうもり」、2009年まつもと市民オペラ「椿姫」の合唱を指導。志音会においては、深志高等学校創立120周年・130周年記念コンサートにおいて合唱指揮を務めた。

現在、日本合唱指揮者協会会員。NHK文化センター松本「オペラへの誘い」講師。

指揮 **石川裕之** (いしかわ ひろゆき 33回卒)

松本深志高等学校卒業。筑波大学大学院修了。これまでに筑波大学混声合唱団、飯田市民合唱団などに所属し、現在は「合唱団まい」に所属。現在、松本深志高等学校教諭、音楽部顧問。

ピアノ **中島加恵** (なかじま かえ 51回卒)

北安曇郡池田町出身。松本深志高等学校卒業。3歳よりヤマハ音楽教室で音楽の基礎を学んだ後、ピアノ、エレクトーン、作曲等の指導を受ける。ヤマハ JEC 全日本大会 '94 銅賞、'95 銀賞 受賞後、演奏活動を開始。長野冬季五輪等各地でのソロコンサートをはじめ、様々な演奏者、合唱団等とも共演。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業後は演奏活動の他、ピアノ、ソルフェージュ、和声学等の指導も行う。CM 等映像音楽の制作にも携わり、第 52 回カンス国際広告祭 ブロンズ、第 42 回ギャラクシー賞 CM 部門大賞等、国内外で多数受賞。2006 年、故郷、信州安曇野に拠点を移し、様々な分野に挑戦している。これまでに作曲を高橋裕、夏田昌和、馬場法子の各氏に、作曲理論を尾高惇忠、川井学の各氏に、ピアノを岡野寿子、皆川暁子、小林山紀の各氏に、エレクトーンを笠原芳子、小林陽一、矢口理津子の各氏に師事。現在、長野県塩尻志学館高校 非常勤講師。

ピアノ **有賀詩織** (あるがしおり 54回卒)

松本市出身。松本深志高等学校卒業後、桐朋学園大学カレッジディプロマコースピアノ専攻を経て、桐朋学園大学作曲理論学科音楽学専攻を卒業。日本音楽教育における合唱教育について研究する。長野県ピアノコンクールにおいて優秀賞、奨励賞受賞。「ピアノトリオの夕べ」にて雨田光弘氏らと共演。ジョイ・オブ・ミュージックマスタークラス、エマニュエル・パユ & エリック・ルサーージュによるマスタークラス受講。これまでにピアノを花岡千春、野溝千春、阿部美果子、江澤聖子、和声学を原田敬子、音楽学を西原稔の各氏に師事。男声合唱団「クール・ピア」「波田少年少女合唱団」「志音会」ピアニスト。第2回松本市市民オペラ「椿姫」コレパティトゥアを務める。現在、長野県松川高等学校（飯田工業高等学校 兼）講師。